

令和2年度第1回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：令和2年6月25日（木）

午後2時から

場所：弥富市役所本庁舎3階 大会議室

○議 事

1.開会

事務局 (安井課長)	・ただいまから、令和2年度 第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。
---------------	--

2. あいさつ

事務局 (安井課長)	・最初に、安藤弥富市長よりご挨拶をいただく。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は令和2年度第1回となる弥富市地域公共交通活性化協議会にご出席いただきありがとうございます。 ・平素は弥富市の行政に対してそれぞれのお立場でご支援、ご協力をいただき心より感謝を申し上げます。 ・昨今の新型コロナウイルス感染症については、すべての都道府県への緊急事態宣言が解除されて1カ月が過ぎた。全国的に社会経済が大変冷え込んだ日本だが、解除されてからは、少しずつ戻りつつある。先週の19日には人の移動やイベント等に係る制限が緩和され、この冷え込んだ経済も加速して戻るものだと思っている。 ・本市の重要な地域公共交通であるきんちゃんバスもこれまでにさまざまな運行改善に取り組んできた結果、令和元年度の利用者はこれまでの最高である8万3171人となった。ただ、新型コロナウイルスの関係で3月は激減、4月、5月については半減という数値が出ている。 ・このような状況下において、徐々に戻り始めた社会生活に合わせ、きんちゃんバスの利用者も戻していかなければならない。また、増やしていくような対策を取っていかなければならない。 ・皆様方にはさらなるお力添えをよろしくお願いを申し上げます。 ・本日の議題については、令和元年度の決算報告をはじめ、7つである。また、本年度末までに弥富市地域公共交通網形成計画の見直しを完了させなければならないので、慎重にご審議を賜るようお願いを申し上げ、挨拶とさせていただきます。

3. 資料確認

事務局 (安井課長)	・本日の会議資料の確認を事務局より願います。
事務局 (富居)	会議資料の確認をする。 事前にお送りした資料として、

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1：令和元年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書 ・資料2：令和3年度地域公共交通確保維持改善計画（案） ・資料3：利用者実態調査について ・資料4：モニタリング調査について ・資料5：無料お試し乗車券について ・資料6：改定）弥富市地域公共交通網形成計画素案 ・参考資料1：弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿 ・参考資料2：弥富市地域公共交通活性化協議会規約、弥富市地域公共交通活性化協議会事務局規程 ・参考資料3：令和2年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算 ・参考資料4：令和元年度第4回弥富市地域公共交通活性化協議会の書面決議の結果 ・参考資料5：令和元年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果 ・参考資料6：弥富市移動支援事業について <p>また、本日机の上に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配席表 ・フラットファイル <p>をお配りしている。</p>
--	---

4. 委員紹介

事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は、概ね2時間を予定している。よろしくお願ひしたい。 ・今年度より委員となられた方のご紹介をさせていただく。参考資料1に名簿をつけている。新しい委員の方の職名、名前を読み上げる。 ・区長会長の高橋忠様。 ・愛知県都市整備局交通対策課担当課長の澤木徹様、本日は代理出席である。 ・愛知県蟹江警察署交通課長の太田真也様、本日は代理出席である。 ・飛島村総務部長の鬼頭邦彦様。 ・木曾岬町危機管理課長の伊藤雅人様。 ・弥富市の村瀬副市長。 ・以降の議事を山崎先生に願ひする。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本協議会の座長を仰せつかっている。よろしく願ひする。 ・冒頭に市長から話があったように、大変な状況をようやく乗り越えたが、これからこの感染症とつき合いながら生活していかなければならない。 ・バス、公共交通にとっては逆風であった。バスの車内はまさに密な空間になってしまう。 ・利用者が半減したと市長から紹介があった。半減したがゼロにはなっていない。あれだけ外出を制限された状況になっても半分の方はバスに乗っていた。ということは、不要不急ではない、乗ってどこかに行かなければいけない方々がいらっしやったということである。こういう方々がバスを必要としているということを再認識できた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はその期間にどのような状況だったかということも調査していけたらとよいと事務局には話をしている。 ・一方で、高齢者にとっては不要不急の外出こそが大切だと言われている。不要不急な外出ができなくなってしまうと高齢者は寝たきりになってしまうと言われる先生もいる。 ・いろいろな課題が山積みになっているが、弥富市の公共交通をいいものにしていきたい。よろしく願います。
--	--

5.議題

(1) 令和元年度決算報告について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は議題がたくさんあるが、2時間以内で終わらせたい。十分に言いたいことは言っていたきたい。 ・議題が7つある。皆さんで協議をして了承いただく案件が(1)から(5)までである。 ・議題(1) 令和元年度決算報告について、事務局から資料の説明をお願いします。
事務局 (富居)	<p>○資料1説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算について、資料1をもとにご報告する。 ・まず決算書について、款・項・目、予算額、決算額の順にご報告する。 ・歳入。 ・1款、負担金、予算額、1億420万円。決算額、9711万6798円。 ・2款、国庫支出金、1項、国庫補助金、予算額、227万5000円。決算額、227万5000円。 ・4款、諸収入、1項、預金利子、予算額、1000円。決算額、3円。2項、雑入、予算額、369万3000円。決算額、862万3000円。 ・計、予算額、1億1016万9000円、決算額、1億801万4801円となる。 ・歳出。 ・1款、総務費、1項、総務管理費、1目、会議費、予算額、1万円。決算額、0円。2目、事務局費、予算額、4万円。決算額、5390円。 ・2項、諸費、予算額、596万8000円。決算額、1089万8003円。 ・2款、事業費、1項、事業推進費、1目、事業推進費、予算額、1億320万円。決算額、9683万8266円。2目、広報公聴費、予算額、95万円。決算額、27万3142円。 ・3款、予備費、予算額、1000円。決算額、0円。 ・計、予算額、1億1016万9000円。決算額、1億801万4801円となる。 ・詳細については備考欄を参照いただきたい。 ・次にうら面のバス運行事業費について、委託契約額、9224万610円。運賃収入等が488万3170円。減便による減額が2万2074円で、契約額から運賃収入等を引いた8733万5366円となる。 ・また次ページには、これまでの各年度のバス運行経費などについて整理をしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・運行経費は、平成28年12月の蟹江警察署バス停の新設や人件費等の上昇により増加傾向となっている。 ・収支率は5.3%と前年度と同等を維持している。 ・年間利用者数は増加傾向を維持しており、令和元年度はこれまでで最も多い8万3000人を超えている。利用者1人当たりの運行経費は1109円とわずかに上昇している。 ・また平成29年度と比較して、年間利用者数は増えているが、運転収入は減っている。これは無料で利用できる75歳以上の方の利用増による運賃収入が減少しているものと考えている。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き監査報告をいただきたい。区長会長の高橋さんに監事をお願いしている。よろしく願います。
高橋委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・監査報告をさせていただく。 ・弥富市地域公共交通活性化協議会事務局より提出された令和元年度弥富市地域公共交通活性化協議会収支決算については、諸帳簿及びその証拠書類等を監査した結果、いずれも適正に執行され、決算額に誤りはないものと認められることをご報告する。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋さん、服部さん、お2人の監事の方から印鑑をいただいている。 ・ただいま報告があった決算報告に関して、何かご意見、ご質問があれば願います。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1については特段意見等はないが、事務局に願いがあがる。 ・冒頭で山崎先生から本日の議題(1)から(5)までが協議事項で、(6)以降は報告とあった。参考資料2に規約もついているが、協議が整う、整わないというのが、この公共交通会議で重要なところである。 ・何が協議なのか、何が報告事項なのかをわかるように議題の中で示していただくことが必要だと思う。 ・規約の中に、委員の半数の出席で成立するとある。その説明も冒頭にあったほうがよい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・「本日の出席者何名で、規約の過半数を満たしている」と、よくある。これからはそういった運営をお願いする。よろしいだろうか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・わかった。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかに何かご意見はあるか。よろしいだろうか。 ・それではご審議いただきたい。 ・ただいま報告があった議題(1)令和元年度決算報告に関して、ご承認いただける方は挙手をお願いする。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・全会一致で承認いただいた。

5.議題

(2) 令和3年度地域公共交通確保維持改善計画(案)について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度地域公共交通確保維持改善計画(案)について、事務局より説明をお願いする。
------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加された市民の方は「令和3年度」と言われて違和感はないだろうか。まだ今年度に入ったところだが、この事業に関しては年度の初めが10月で、10月から9月で1年度になっている。10月から令和3年度に入ってしまう。今このタイミングで協議しなければいけない。
高橋委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・普通は令和2年度は4月から。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。3年度は次の4月からである。 ・事務局から資料の説明をお願いする。
事務局 (富居)	<p>○資料2説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度地域公共交通確保維持改善計画案について、資料2をもとにご説明する。 ・一定の要件を満たし、この「地域公共交通確保維持改善計画」に位置づけられた路線については、「地域公共交通確保維持改善事業」の運行補助を受けることが可能となる。 ・地域公共交通確保維持改善計画には、さまざまな添付様式・資料があるが、ここでは、計画部分として令和3年度から5年度までの3ヵ年計画を提示している。 ・なお、確保維持改善計画の計画年度は10月から翌年9月までを1ヵ年としている。 ・まず、「0. 地域公共交通確保維持改善計画の名称」は「弥富市地域公共交通確保維持改善計画」とする。 ・次に「1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性」についてだが、弥富市内の公共交通網は、飛島公共交通バス蟹江線が地域間幹線系統として、蟹江線に接続する東部ルートがフィーダー系統として国庫補助を受けて運行しており、きんちゃんバス全ルートが近鉄弥富駅で、北部ルート及び東部ルートは佐古木駅でも鉄道と接続している。 ・計画の目的としては、平成28年3月に策定した「弥富市地域公共交通網形成計画」に基づき、まちづくり等の上位・関連計画と連携するとともに、地域特性や利用者特性に応じた継続的な改善を行い、使いやすく環境にもやさしい地域公共交通として確保・維持することを目的としている。 ・なお、地域公共交通網形成計画については目標年である令和2年度を迎えていることから、令和3年度からの新計画として見直し中となっている。 ・計画の必要性については、利用者で最も多い高齢者などの交通弱者の交通手段確保として確保・維持していくことのほか、「弥富市地域公共交通網形成計画」に基づき、今後も市内のバス運行の改善・充実のため、ニーズに即したダイヤの見直し、隣接する自治体との連携等の検討を行い、併せて地域公共交通確保維持事業により、鉄道や飛島公共交通バスなどの幹線に接続し、市民生活と地域を支えるフィーダー系統として確保・維持していくことが必要である。 ・次にP.2、「2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果」として、

	<p>事業の目標では、網形成計画に基づき、2つの目標を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、網形成計画における目標値と本計画における目標値を対比できるように、表で整理している。 ・1つ目は「総合的満足度の向上」として、利用者アンケートにおける満足度のうち「非常に満足」「やや満足」の割合となる。 ・表左側の網形成計画では、目標年である令和2年度に50%以上を確保することを目標としているが、昨年度の令和元年度の実績では48.9%が満足している状況である。 ・表右側の本計画においては、各年において50%以上を維持することを目標としている。 ・2つ目は「1便当たり乗車人員の向上」となる。 ・表左側の網形成計画では、令和2年度に北部ルートで1便当たり11.8人、南部ルートで8.7人、東部ルートで9.5人を目標としている。 ・この目標値は4月から翌年3月までを1年度とした場合の値となる。 ・一方、昨年度の令和元年度の実績では、北部ルートで1便当たり10.2人、南部ルートで8.9人、東部ルートで10.2人ということで、南部ルート及び東部ルートは目標を上回っているものの、北部ルートにおいては一層の利用促進が必要な状況となっている。 ・表右側の本計画では、令和5年度において、北部ルートで1便当たり12.7人、南部ルートで8.7人、東部ルートで13.6人を目標としている。 ・この目標値は10月から翌年の9月を1年度とした場合の値となる。 ・一方、昨年度の令和元年度の実績では、北部ルートで1便当たり10.2人、南部ルートで8.6人、東部ルートで10.5人となっている。 ・また、「事業の効果」としては、満足度及び1便当たりの乗車人員数の向上により、コミュニティバスの運行を維持することが可能となり、高齢者等の通院や買い物等の市民の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保され、高齢者等の外出が促進される。また、市内鉄道との接続により、名古屋方面をはじめとした通勤・通学や買い物に対応する公共交通ネットワークを構築することができ、車に過度に依存しない社会の構築にも繋がるとしている。 ・次にP.3、「3. 2の目標を達するために行う事業及びその実施主体」について、先ほどの2.でご説明した目標を達成するための事業として、網形成計画をもとに実際に取り組んでいる内容を記載している。 ・総合的満足度の向上の目標に対しては「サイクル&バスライド駐輪場の設置継続」「乗務員研修の実施」、1便当たり乗車人員の向上に対しては「75歳以上への無料パスカードの配布を継続」「定期券、回数券、シルバーパス等の販売を継続」「無料お試し乗車券の配布」としている。 ・次に「4.地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者」について、現在の系統の概要や時刻、運行事業者の決定方法について記載している。 ・次に「5.地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者」は、弥富市
--	--

	<p>となっており、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次にP.4、「6.補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称」は、三重交通株式会社となる。 ・次に7から11について、弥富市は「該当なし」となっている。 ・次に、「12.地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要」についても所定の様式に従い、別途整理しているが、ここでは説明を割愛させていただく。 ・また、13から16について、弥富市は「該当なし」となっている。 ・次にP.5、「17.協議会の開催状況と主な議論」として、令和元年度の協議会開催状況と、今回の協議会開催について記載している。 ・次に「18.利用者等の意見の反映」については、協議会構成員に住民又は利用者の代表が参加していることや、利用者アンケートを実施した上で、改善策を検討協議していることを記載している。 ・最後に「19.協議会メンバーの構成」として本協議会の構成員を記載している。 ・本計画については、現在も運輸支局と記載内容について調整を続けており、この会議の場では概ねの記載内容の確認と、今後、計画提出までの調整を事務局に一任していただきたく、ご審議をお願いしたい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま説明いただいた令和3年度地域公共交通確保維持改善計画（案）に関して、ご意見、ご質問があればお願いします。いかがだろうか。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭で山崎先生が令和3年度という話をされていた。改善計画とは何かというところだが、国の補助金を取りにいくための計画と思っていただければと思う。 ・毎年この計画は6月末までに国土交通省に提出をすることになっている。6月中に公共交通会議を開催される自治体は多い。 ・ここに「フィーダー」という文字があるが、これは何かと言うと、実はこの補助金をもらうためには、もととなる幹線の複数の市町村間をまたがるバス系統がある。それが国庫補助をもらっている路線であって、そこに接続をする、支線、枝となる路線がフィーダー系統である。 ・きんちゃんバスは飛島公共交通バスに接続している路線である。 ・もう1つ、補助金をもらうための要件として、幹線に接続はしていないが、交通が不便な地域という指定を受けることができる。 ・交通不便地域と指定を受けている地域が弥富市内にある。これがきんちゃんバスの北部と南部ルートになる。東部ルートは飛島公共交通バスに接続をしている路線。北部と南部ルートは交通は不便だが、広域的な移動をする近鉄の鉄道への接続もしている。 ・そういう指定を受けた上で、国の補助金がもらえるという要件が満たされているバス路線である。 ・10月から9月までが1年の補助年度期間になり、補助金をもらうために毎

	<p>年確保維持をするための計画を出す。これを出さないと補助金をもらえない。補足である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 記載ぶりがわからない部分がある。P.2で目標値があり、目標値の一番下に「※本計画における各年目標値はこれまでの実績の推移を踏まえ設定」、次に「減少の場合は維持」と書いてあるが、これは言葉的に意味がわからない。国交省の本省に行ったときに、これは何かと突っ込みが入ってしまう。単純にこれまでの実績を踏まえて設定したという考えがわかればよい。ここの部分は削っていただきたい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局、いかがだろうか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> こちらを入れた経緯としては、推移が伸びている場合は伸ばして、減少の場合は維持ということを目指してと記載させていただいた。ご指摘を受け、こちらは削除させていただく。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 米印の一文をすべて削除ということか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> 「減収の場合は維持」だけである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 「減収の場合は維持」の部分だけ削除ということである。 ほかはよろしいだろうか。 それではご審議いただきたい。文言や細かいところで運輸支局からご指摘が今後あるかもしれない。修正が必要な部分もあるかもしれない。そういった場合は運輸支局に一任ということで事務局で対応するということがご了承いただきたい。 いかがだろうか。ご了承いただける方は挙手をお願いする。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 全員の方から賛同を得た。議案(2)令和3年度地域公共交通確保維持改善計画は手続きを進めていただきたい。よろしく願う。

5.議題

(3) 利用者実態調査について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 利用者実態調査について、事務局から資料の説明をお願いします。
事務局 (富居)	<p>○資料3説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者実態調査について資料3をもとにご説明する。 地域公共交通確保維持改善計画検討や改善内容検討のための基礎資料とするため、昨年度に引き続き、今年度においても利用者実態調査として、乗車人員調査及びOD調査を実施する。 「乗車人員調査」については、実証運行期間中、毎日、乗車人数を調査する。 「OD調査」については、10月上旬ごろに月曜日から土曜日までの1週間、調査を実施する予定である。 具体的な期間については、運行事業者である三重交通と調整中となっている。 P.2以降では、参考に平成26年度から令和元年度の乗車人員の推移を整理している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・年度別に線を色分けしており、赤色の線が令和元年度の値となっている。 ・総乗車人員は増加傾向を維持しており、令和元年度には 83,171 人とこれまでで最も多い乗車人員となっているが、3 月は新型コロナの影響もあり、大きく利用者が減少している。 ・P.3 にはルート別に乗車人員の推移を示している。 ・また、P.4 では、上側の表で、4 月から翌年 3 月期における 1 日平均乗車人員、下側の表で 1 便当たりの平均乗車人員を年度別に整理している。 ・P.5 では、参考に各年 4 月と 5 月の乗車人員の推移をグラフにしている。 ・これを見ると、4 月、5 月とも例年の 6 割程度まで利用者が減少していることが見て取れる。 ・現在、きんちゃんバスにおいては、換気や消毒の徹底のほか、運転席へのビニールシートの設置、啓発ポスターの掲示を実施するなど、対策を実施しており、今後もこのような対策を継続的に実施するとともに、対策実施の周知も展開していきたい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者実態調査、利用の状況を調査していこうということで、P.2以降は、参考までに今の利用者の状況を報告している資料である。 ・今年度やる調査自体はP.1に記載されている内容、乗車人員調査は毎日、OD調査は1週間やっていくということである。 ・OD調査はoriginとdestinationの頭文字を取っている。出発地と到着地である。どのバス停から乗って、どのバス停で降りたかを調査するということである。これがわかると、ある人がどこから乗って、どこに行ったのかということがわかってくるということで、そういう人たちがどれぐらいいるかを見ることでバスの路線の改編など、よりいいものにしていくことに役立っていく、そんな調査である。 ・この調査をやっていくのだが、P.2以降にある現状の報告も含めて何かご意見、ご質問があればお願いしたい。いかがだろうか。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつか心配な点がある。 ・調査方法は実際にどのような感じでやるのか。調査票はどのようなものなのか。 ・この中で、「※バスの運転手がカウントする」、「バスの運転手が利用者に対し乗車時に調査票を配布し」とあるが、結構運転手の負担が大きいのではないか。三重交通は大丈夫か。本当にできるのか。もたもたしてバスの遅延が発生することになっては本末転倒である。事務局や三重交通の調整状況がわかったら教えてほしい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、お願いする。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・人員調査に関しては、三重交通の担当と調整している。 ・今年度に関しては例年どおりに行うが、その辺のご意見もあるので、再度三重交通に確認し、無理のないように実施する。よその市町村でいいやり方あれば参考にして検討する。とりあえず、今年度は例年と同じように行きたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいだろうか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ちなみにOD調査というのは、あまりほかでは見ないが、弥富のお手伝いをされているコンサルタントさんが考えたということだが、バス停の名前が書いたシールを貼る形で調査をする。 ・実際に乗務員さんとしてはどうなのか。三重交通さんか、組合さんか、この調査に関して何かコメントはあるか。当然負担はかかると思う。何とか今までやっていただいているという状況だろうか。
<p>小黒委員 (三重交通)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手の負担にならないかという点とあれだが、毎年させていただいている。 ・今ご指摘のあった遅延につながったり、そこまでのお話であれば、我々のほうから弥富市とお話をさせていただく。今のところ乗務員からはそういう声は上がっていない。大丈夫かと思う。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局は交通事業者さんと十分に調整して、実施に際してはそのような形でしていただきたい。 ・利用実態調査をこの形で実施するかどうか、この場で承認いただけるかどうかご審議いただきたい。 ・やり方としては今までのやり方である。交通事業者さんとの調整の中で何かやり方が変わるかもしれない。その場合は事務局に一任いただく。 ・利用者実態調査の実施に関して、承認いただける方は挙手をお願いする。いかがだろうか。
<p>委員一同</p>	<p>(異議なし)《承認》</p>
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、承認いただいたので、調査の準備を進めていただきたい。よろしく願います。

5.議題

(4) モニタリング調査について

<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査について、資料4の説明を事務局から願います。
<p>事務局 (富居)</p>	<p>○資料4説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査について、資料4をもとにご説明する。 ・先ほどの利用者実態調査同様に、昨年度に引き続き、今年度においてもモニタリング調査として、きんちゃんバス利用者を対象としたアンケート調査を実施する。 ・調査は、きんちゃんバス利用者 500名に配布する予定である。 ・実施時期は、10月中旬ごろに実施する予定である。 ・具体的な配布期間については、運行事業者である三重交通と調整中となっている。 ・内容を次のページより整理している。 ・「きんちゃんバスに関するアンケート調査、ご協力をお願いします！」と書いてあるおもてうら1枚が頭紙となっており、うら面に、啓発や利用促進を兼ねて、お得な情報やサイクル&バスライド駐輪場の情報を記載している。 ・また、この紙は対象者の手元に残るように、アンケート票とは別に分けて印刷する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・次のページからアンケートの内容となっている。 ・右上に「利用者アンケート」と小さく書いてあるアンケートをごらんいただきたい。 ・アンケートは問1から問13までの設問で構成しており、問10まではこれまで実施してきた調査とほぼ同様の内容となっている。 ・アンケートのP.2、問6ではきんちゃんバスの満足度を把握するものとなっており、この回答結果は、先ほどの確保維持改善事業の目標として掲げている「総合的満足度の向上」の評価指標として活用するものである。 ・最後のページだが、コロナ禍による外出等への影響についてお聞きするものとなっており、影響の分析と今後の対策の基礎資料となればと追加している。 ・問11-1では外出の頻度の変化を、問11-2ではきんちゃんバスの利用の変化を、問11-3では利用の減った方の交通手段の変化についてを把握するものとなっている。 ・また、問12では今後のきんちゃんバスの利用意向、問13では求められる対策について把握するものとなっている。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査ということで、利用者に対してアンケート調査を実施する。 ・ただいま調査票に関して事務局から説明いただいた。何かご意見、ご質問があればお願いします。いかがだろうか。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・確認である。バス車内の直接配布も運転手がやるのか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。昨年は市から2000名に郵送する形でアンケートを行った。今年度はバス車内で運転手に配布していただく計画である。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と違うのか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・申し訳ない。去年は、これとプラスして住民調査で2000名にも両方やっている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者調査は、車内で運転手に配ってもらうというやり方は昨年と一緒である。これも先ほどと同じで、三重交通さんが無理されないようにということである。 ・ほかにいかがだろうか。
高橋委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・このモニタリング調査の対象が、利用者が500名となっている。もう少し増やす計画はあるのか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・三重交通とお話をする中で、結構乗られている方が一緒の方で、調査の終盤になると前ももらったという方が多くなる。500名で妥当と考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいだろうか。 ・ほかにいかがだろうか。
柿内委員(代理)	<ul style="list-style-type: none"> ・「それぞれ当てはまる番号に1つずつに○」とか、「すべてに○」と書いて

(名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会)	ある。これをもらった方は、「すべてに○」という意味がわかるだろうか。
山崎議長	・例えば問2で、「現在の主な利用バスルート(すべてに○)」とあるが、「当てはまるものすべてに○」だろうか。
柿内委員(代理) (名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会)	・「該当するものに複数回答可」というならわかるが、「すべてに○」と言われると、全部に○を打たないといけないと思う。書かれていることが伝わらない。
事務局 (富居)	・修正を検討させていただく。
山崎議長	・おっしゃるとおりである。勘違いをする方もいるかもしれない。 ・ほかにいかがだろうか。
伊藤委員(代理) (愛知県バス協会)	・コロナ禍の関係で、問13の6、7、「座席の削減をする」と書いてある。例えばこういうのが来た場合には対応は可能になるのか。続行便を出すとか、そんな形もできるのか。 ・ガイドラインには乗客の減ということは出ている。実際にこれが可能かどうかお聞きしたい。
山崎議長	・事務局、お願いします。
事務局 (富居)	・一応アンケートには載っており、事務局としても可能ではないかと考えてはいた。実際に法令等と照らし合わせて、また三重交通とも協議をして確認する。
山崎議長	・物理的に座席を取り外してしまうやり方もある。一時的に貼り紙をして空けるやり方もある。「削減」と書いてあるが、一時的に座れない状態にするやり方もある。やり方はいろいろある。 ・回答者にわかりやすい表現を心がけたほうがよい。 ・よろしいだろうか。ほかにいかがだろうか。 ・アンケートの内容なので、市民公募委員の佐野さん、何か意見があるだろうか。感じたことでもよい。
佐野委員 (公募委員)	・座席は取り外していただくとか、間隔を広げていただくとか。
山崎議長	・そういうことを思い切ってやったほうがよいだろうか。
佐野委員 (公募委員)	・思い切ってやってしまったほうがよいのではないかと。 ・バスは窓をあけて運行するのか。
事務局 (富居)	・換気はする。
佐野委員 (公募委員)	・それが十分ならよいと思うが、最初から座席を取り外して広く取ってやっていただいたほうがよいと思う。
山崎議長	・参考にさせていただきたい。いろいろなやり方があると思う。 ・アンケートでどのような回答が返ってくるか。回答者がよくわからないような選択肢にならないように気をつけていただきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの中身はまだ検討する余地があると思う。実施が10月中旬ごろである。最終的にアンケート調査の調査票を完成させるのはいつか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> 8月末の完成を予定している。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 8月末ということである。委員から後日何か気づいた点、意見をいただくとすれば締め切りはいつごろにすればよいか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> 7月末まででお願いします。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 7月末までに、このアンケート調査の中身をまた見ていただいて、もし意見があれば事務局まで連絡いただきたい。そういった形で調査票を作り込んでいく。 実際に自分で回答してみる。あるいは家に帰っておじいちゃん、おばあちゃん、奥さん、旦那さんに回答してもらおうとわかりにくいところが見えてくるかと思う。お願いしたい。 皆さんから今日いただいた意見、今後いただく意見を踏まえて調査票は修正をしていく。 アンケート調査を実施することに関してご審議いただきたい。 承認いただける方は挙手をお願いします。いかがだろうか。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 承認いただいたので、事務局で作業を進めていただきたい。よろしくお願いします。

5.議題

(5) 無料お試し乗車券について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 議題の5、無料お試し乗車券について、資料5を使って説明をお願いします。
事務局 (富居)	<p>○資料5説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料お試し乗車券の配布について資料5をもとにご説明する。 これまで9回にわたり実施し、利用者増の効果が認められた無料お試し乗車券の配布について、今年度も実施する。 配布対象は昨年度と同様に、市内全世帯に加え、小学生にも配布することを考えている。 また、配布期間についても昨年と同様に8月と9月の2ヶ月間を利用可能期間としたいと考えている。 次の紙のおもてうらが今年度のサンプルとなる。 おもて面には、コロナ対策も含めた啓発を目的とした文言を記載し、うら面には簡単なアンケートを記載して、回答を無料乗車の利用条件としている。 アンケートの内容については、例年と同じ内容となっており、Q2、Q3で新規利用者数を把握するものとなっている。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 今回で10回目である。10年、毎年この時期に無料お試し乗車券を全戸配布している。 ただいま説明をいただいた。何かご意見、ご質問があればいただきたい。

	いかがだろうか。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回で10回目であるが、この後の網計画にも過去の無料お試し乗車券のいろいろな推移も出ている。昨年は減ってしまっている。ずっとやっていて減ってきているというところもある。 ・10回目はわりといい区切りだと思う。10回をやった後に、これまでやった結果の見直しや分析をやっていただくことが必要ではないか。 ・ほかに利用促進策としてやれるべきことがあれば、また新たな方策として考えていただきたい。よろしく願う。
山崎議長	・事務局、願う。
事務局 (富居)	・10年間の検証を行い、今後どうするかを検討していきたい。
佐野委員 (公募委員)	・2カ月あるが、8月、9月は暑い。乗らなくてはと思っている間に過ぎてしまう。10月までの3カ月は無理だろうか。
山崎議長	・事務局、いかがだろうか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年まで8月の1カ月間で、8月は暑いので熱中症という話があり、昨年、8月、9月の2カ月に変更した経緯がある。 ・状況を見て、もし2カ月でも暑いという話があれば、10年の総括を行うのと同時に検討をしたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は暑い上に感染症予防対策もあって、少し検討の余地のあるところかもしれない。期間を延ばせばその分密にならなくなるという話もないことはない。検討いただきたい。 ・ほかにご意見、ご質問はよろしいだろうか。 ・市民の方の手に渡るものなので、福寿会の早川さん、いかがだろうか。
早川委員 (福寿会連合会)	・特にない。これで結構である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・10回目ということで、実施して、先ほど支局さんからご提案いただいたように1度分析をして、今後また新たなことをやるならやってということで、この後また取り組んでいくということで願う。 ・それでは、無料お試し乗車券を実施するというので、利用可能期間はまた今後検討していく、事務局一任ということで。
事務局 (富居)	・とりあえず今年度については、配布が7月中旬となっており、明日からでも印刷にかからなくてはいけない。今年度は2カ月間でやらせていただく。翌年度から検討させていただく形で願う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末までということであるが、今回はこれでやりたいという事務局の意向である。 ・8月、9月の2カ月間、この形でお試し乗車券を利用促進のために実施するというのでご審議いただきたい。 ・承認いただける方は挙手をお願いする。いかがだろうか。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・全員の方に賛成の挙手をいただいた。事務局で、明日印刷に出すということで、準備を進めていただきたい。よろしく願う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・協議事項は以上になる。すべての議題に関して承認いただいた。 ・事務局で準備、手続きが必要なものは進めていただきたい。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・きんちゃんバスの乗車券にミスプリがあった。有効期間が8月1日(土)から「令和2年9月30日(月)」とあるが、月曜日ではなく、水曜日である。訂正して印刷する。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・券面の印刷の曜日である。

5.議題

(6) 地域公共交通網形成計画について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題の6、地域公共交通網形成計画について、事務局より説明をお願いする。
事務局 (富居)	<p>○資料6説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画について資料6をもとにご説明する。 ・本資料は昨年度の第4回協議会でお示した「弥富市地域公共交通網形成計画見直しに向けた基礎調査」の資料をベースに整理したものとなっている。 ・P.1、前回の第4回協議会では、現在、並行して検討が進んでいる総合交通戦略との連携や関係性についてご意見をいただいた。また、総合交通戦略の協議会でも同様のご意見をいただいている。 ・そこで、新たに「1.はじめに」を項目立て、計画策定の背景や目的、計画の内容、計画策定の進め方、そして、計画の位置づけとして総合交通戦略との関係性も含めた整理を行っている。 ・総合交通戦略は、徒歩、自転車、公共交通、自動車の総合的な都市交通の将来像と、それを実現するための総合的かつ戦略的な交通施策を一体的に定めた計画となり、地域公共交通網形成計画は、きんちゃんバスをはじめとした地域公共交通分野における、より具体的な取り組み内容などを定めた計画となり、相互に整合、連携を図った計画となる。 ・P.3からの「2.地域の概況」については、前回から変更はない。 ・P.18からの「3.公共交通の状況」については、P.26からの「3-4-2 利用者数」や、P.45の「3-4-4 収支」について、令和元年度末までの数値に更新しているが、新型コロナの影響を除き、過年度と同様の傾向となっている。 ・また、P.74からの「4.住民意向等の把握」、P.115からの「5.上位・関連計画」、P.124からの「6.問題点・課題の整理」については、前回からの変更はない。 ・次に、P.126からの「7.弥富市地域公共交通網形成計画」についてだが、「7-1 計画期間」から「7-5 地域公共交通の展開方針」までについては、前回協議会から変わっていないが、おさらいの意味も含めて簡単に説明させていただく。 ・計画期間については、令和3年度からの5年間(令和7年度まで)とする。 ・また、計画区域は弥富市全域とする。 ・P.127に移って、基本理念は、現在の網形成計画を踏襲し、「市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持」としている。

- ・また、今回の計画では、事業を体系化するために新たに「地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成」「継続的な利用促進策等の取組みの展開による地域公共交通の維持・活性化」「地域や行政、交通事業者等が協働・連携し、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成」という3つの基本方針を設けている。
- ・P.128、地域公共交通の展開方針では、使いやすい地域公共交通網の形成を図るため、上位・関連計画におけるまちづくりの方針を踏まえた、公共交通網を考える上で重要となるエリアや拠点、それらを効果的に結ぶ軸の形成や、それらの軸を補完し、各地域の移動を支える交通網を形成するなど役割を明確化している。
- ・そのイメージ図をP.129に掲載している。
- ・特に南部地域においては、再編を意識したイメージにするとともに、幹線系統が運行する飛島村や木曾岬町など、今後重要となる周辺町村との連携もイメージしている。
- ・次にP.130、この「基本方針に基づく目標」については、今回新たに追加した項目となる。
- ・現在の計画では、「利用者満足度の向上」と「1便当たり乗車人員の増加・維持」の2つの目標を掲げている。
- ・今回の見直し計画では、参考資料5の「令和元年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果」でも「利用者満足度の向上」の妥当性の検討や市としての明確なビジョン及び目標設定をとのご意見をいただいていることから、今回設定する3つの基本方針ともリンクした5つの目標を掲げることを考えている。
- ・「目標①：使いやすい地域公共交通網の形成による利用者数の維持・増加」は、今後、再編等を実施することを踏まえ、1便当たりではなく、全体的な利用者の増加を図ることを目標としている。目標年である令和7年度に10万人達成を目標としている。
- ・「目標②：無料お試し乗車券配布実施による新規利用者の獲得」は、毎年実施している無料お試し乗車券を今後も継続することを前提に、毎年80人以上の新規利用者を獲得することを目標としている。
- ・「目標③：利用者1人当たり運行経費の削減による持続性の確保」は、現在の利用者1人当たり運行経費を1割程度削減することとし、目標年における利用者1人当たり運行経費を1,000円/人以下とすることを目標としている。
- ・「目標④：弥富市地域公共交通活性化協議会を通じた協働・連携」では、これまでどおり協議会を継続的に開催していき、公共交通について適正な評価と改善を繰り返し検討することとし、毎年4回以上の開催を目標としている。
- ・「目標⑤：住民意見交換会の実施により、地域公共交通を創り、支える環境の形成」は、中間年や目標年などにおいて住民意見交換会を実施し、目標年までに2回以上の意見交換会を開催することを目標としている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・また、ページの下部にある表では、基本理念・基本方針に対応する目標を整理している。 ・これらの内容については、今後予定されている法改正の内容も踏まえ、適宜検討していくことになると考えている。 ・また、次回の協議会では「7-7」以降の内容についてもお示しさせていただく予定である。 ・今回は、特に「7-6 基本方針に基づく目標」についてご意見をいただきたい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網形成計画について、前回の協議会から変更のあった部分等を説明いただいた。特に最後のP.130、「7-6 基本方針に基づく目標」の部分でご意見をいただきたい。ほかの部分でもよい。何かご意見、ご質問いかがだろうか。
高橋委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・私は初めて参加させていただいた。P.126の公共交通網のところ、恐らく丸が打ってあるのが停留所だと思うが、特に南部地域は停留所が少ない。 ・子どもさんを親が駅まで迎えに行くという関係で時間的なものも見直しをしていただくと利用者も増えるのではないか。いかがだろうか。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から願います。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・南部については今まで通勤・通学に使うケースが傾向としては多く、それに対応してルートが遠く、乗ってから目的地に着くまで時間がかかるというご意見があった。特に南部についてなるべく早く目的地に到着するような幹線ダイヤへの見直しを行うことを今検討している。 ・詳細についてはこれから煮詰めていく段階であり、確定的なことは言えないが、大きな方針としてはそのように考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・南部ルートの南のあたりは家もない。どうしてもバス停の間隔が広がってしまう。 ・今の意見に絡んで、将来の展開イメージとしてP.129にイメージ図を載せていただいて、事務局のお考えとしてこのようなイメージを持っているということで、拠点をきちんと設定して、その拠点を中心にいろいろな動きができるような形と見て取れるイメージとなっている。 ・ご意見、ご質問があればお願いしたい。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回私は申し上げている。お金もかかることであり仕方がないが、本数が少ない。 ・バス停がとても近い方と遠い人がいる。バス停まで行くのにすごくかかる。前は飛島さんのバスが来ていたからそれに乗れたが、今は来ない。そこまで行くのに、今はまだ歩くことができるが、これから先年を取ったらという意見を聞く。 ・私の地域は皆さん家族が多い。うちは息子も遠くに行っていない。今はいいが、バス停をもう少し考えていただきたい。 ・ダイヤのこと、バス停のことを皆さんよくおっしゃる。よろしく願する。

事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・本数を増やすということはバスも運転手も必要になってくる。その辺は予算の兼ね合いもある。検討していきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野さんご自身はいろいろわかっているが、やはり言うておかないということである。 ・費用の面や、本当に利用してくれるのかということもあり、事務局も今までいろいろ検討していただいて、次の計画では大胆に変えていくのもあるのではないかとということでP.129のイメージが出てきている。 ・去年やった市民懇談会で、皆さんで図面を広げて、そこで出てきた意見を踏まえて、このようなイメージができてきている。 ・ほかにご意見はいかがだろうか。 ・特にP.130の基本方針に基づく目標の話だが、例えば運輸局での第三者評価、偉い先生方が評価してくださったが、満足度という指標を見直したほうがよいのではないかと。確かに満足度は曖昧である。今満足度を50%維持するというのでやっているが、だんだん満足度は下がってきて、何か施策をやるとポンと上がったたりして、増便すると上がったたりするが、またその後下がったり、なかなか評価しやすいようで、しにくい指標である。それは変えていこうということで、今目標を5つ出している。いかがだろうか。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に行く前に1つお願いがある。P.121、弥富市さんは現在も計画はあるが、現在の計画に対する振り返りがやや少ない。もう少しそこは何か記載できる場所があればよい。 ・P.130から今議論されているところにつながるのだが、5月27日に、これがもととなっている地域公共交通活性化再生法が改正をされて国会を通った。改正法は10月か11月に施行される。 ・改正された法律で言われているのが、今、この網計画と言われているものが地域公共交通計画になっていく。名称の変更というだけだが、ただ、計画は、今後すべての市町村に努力義務という形になっている。 ・その計画の中でいわゆる重要とされているのが、数値的な目標も言われている。この数値的な目標とは何かと言うと、利用者数、収支率、行政の財政負担のあり方が例として言われている。その意味で考えると、もう少し中身として盛り込んでいただく部分も出てくるのではないかと。 ・目標①に、現在3つのルートがあるが、P.129のネットワークイメージ図を見ると、恐らく今後路線の見直しはあろうかと思う。そここの目標値との関係が、現状どうなっているのか、ここの考え方を確認したい。 ・目標③についても、今1人当たり運行経費が1,000円以下である。現在では1,109円だと思う。そういったところもわかりやすく書いてもらったほうがよい。 ・今後の目標を達成するために行う事業や計画の進め方に今後記載をいただくところがいろいろ出てくると思う。議題2でもあった確保維持改善計画において、今のきんちゃんバスが国の補助金をもらっている。補助金をもらうというのは私も説明したとおり、飛島公共交通バスへの接続、

	<p>近鉄線への接続、ほかの公共交通機関との接続、それらを踏まえたネットワーク、それらも考えた目標、あるいは事業、そういったところも盛り込んでいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併せて、今言われているGTFS化、いわゆるGoogleで時刻が検索できるなど、そういったところの対応を今後どうしていくのか。あるいはMaaSという新しい概念、考え方も出てきている。そちらへの対応方針も踏まえながら、いろいろ事業なども今後作成をいただきたい。 ・目標については、単に利用者数も大事だが、この目標を達成するために、市民の方たちが年間何回乗れば達成できるのか、そういうわかりやすい視点も必要である。市民の方がこれを見て理解ができないと絵に描いた餅に終わる。そういう視点も入れていただくようお願いする。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、お願いする。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・今までご指摘いただいたことをもとにまた検討したい。わからないことも多いので、ご指導をよろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに市民としては何回乗ればいいのかという話が見えるとよい。それで目標が達成できるなら乗ろうかという話になるかもしれない。そんな部分を見せていくのは大事なことである。 ・今ご指摘いただいた中で、この場で回答する必要があるものはあるだろうか。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・あと2回議論する場がある。その中で反映したり、議論できればよい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見ということで、今後検討をしていく参考にしていきたい。 ・目標に関して、ほかにかがだろうか。 ・目標3、1人当たりの運行経費という指標が少し引かかる。よくある数値ではあるが、この成績をよくするためには2つやり方がある。利用者を増やすというのが1つと、運行経費を安く抑えるということである。運行経費を安く抑える。効率的に運行しようという方向に動いていったときに、どんどん要らない部分は切り離して縮小していったという方向に行ってしまうように気をつけなければいけないということは事務局は意識していただきたい。ここの部分は、利用者が少ないところだから切ってしまう。でもそこを切ると本当に必要な人の交通手段がなくなってしまうということもある。そこをきちんと考えてやっていかなければいけない。 ・ほか意見はかがだろうか。よろしいだろうか。 ・今後、この計画策定は、2回、3回とこの場で議論をしていくということになる。引き続きよろしくお願いする。

5.議題

(7) その他

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題(7)、その他で事務局から何かあればお願いする。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・その他ということで、1点ご報告である。参考資料6の弥富市移動支援事業についてをごらんいただきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護行政で、介護関係者によって施策を決めていくときは、地域ケア会議や、市のケアマネがみんな集まっているケアマネ会、介護事業者がほとんど全事業者参加しているサービス調整会議がある。そこで地域課題が話し合われて、市にこのようなことができたらいいのではないかとという提案が行われる。 ・今まで直近でも認知症カフェや訪問リハビリ事業、そういう地域課題として上ってきて市に提案されて、市としても事業化、政策化していた。 ・その中で買い物弱者についての買い物支援事業というのも話し合いが今までもされてきた。ただ、車を使うので法制度の問題があり、なかなか先に進んでいなかった現状がある。 ・そこで、弥富市が直営で事業展開している弥富市ささえあいセンターというのがある。こちらのセンターは5～6年たつが、介護保険サービスでは賄い切れない、例えば買い物支援や通院支援、見守りだけというメニューもある。そういう生活支援サービスを3名の専門の方がコーディネートをしている。登録していただく利用会員と協力会員をマッチングすることによって実施している。 ・ささえあいセンターの利用会員の登録者は365名で、実働は約80名である。主に要介護度が軽度な方である。 ・協力会員の登録者については190名で、実働は60から70名程度である。 ・例えば軽度の認知症状があり、ご自分だけで買い物が難しい方に対しては、今までささえあいセンターにお願いしてくる依頼事項は、必要なものを買ってきてほしいという依頼が多かったが、買い物をしに自分で店舗までささえあいの協力会員の支援を受けて行くことによって、自分で品物を選ぶという喜びを感じることができて、それが介護予防にもつながり、ケアマネジャーもその辺をケアプランにすることが多々ある。 ・ただ、行きたくない方もいる。そういう方を何とか外に連れ出すという方策が必要ということである。 ・移動支援ということが以前から地域課題としてあった。昨年、トヨタカローラ名古屋より、車両2台の無償提供のお話をいただいた。市として何かいい活用方法はないかといろいろ考えて、南部の送迎なども考えたが、弥富市ささえあいセンターの生活支援事業への活用を今検討している。 ・これは確定事項ではなく、本格的に介護事業者を入れて話を始めたのが今月になってからである。まだ実際できるかできないかも含めて、タクシー協会さんとも来週にでもお話を進めていきたい。 ・単に報告と捉えていただきたい。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今お話しいただいたのは福祉事業であるが、今まではお買い物は何かを買ってくるように頼まれていた。それを連れ出すというのはいいことである。私は冒頭に不要不急の外出こそ高齢者に必要だという話で、ヘルパーと一緒に買い物について行ってくれる。そのときにトヨタカローラ名古屋が提供する車を使って移動しようということである。 ・福祉的な事業で、運輸政策になるのかならないのかということもある。

	今後いろいろ検討していくということである。
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補足である。今回、ささえあいセンターという言葉で、そういうことを今検討し始めたということである。トヨタカローラさんから遊休資産というか、試乗車を活用して地域で何かできないかというご提案、実証実験みたいな形で取り組めないかというご相談があった。 ・ そういう中で、弥富市のきんちゃんバスの運行ルートから遠い方、また通いにくい方をデマンドとか、トヨタのプリウスの電気自動車を2台無償で提供するからいろいろな方法で何かできないかというところから話が始まった。 ・ バスと連携するのが法的にも難しい面もある中で、せっかくのお話でもあり、何かできないかと弥富市の地域のいろいろな課題を洗い出したところ、福祉のささえあいセンターというキーワードが出てきた。 ・ 昨日の中日新聞に江南市で市民の有志が住民初の高齢者買い物バスに取り組んでいるという記事が載っていたり、飛島村でも買い物支援とか、高齢者向け、車で買い物に出にくい方たちの支援があちこちで必要だというお声が多い中で、たまたまトヨタカローラからそういう話があって、今相談をさせていただいている。 ・ 当然運行するに当たっては、バスもあるし、タクシー業界さんとの関係もあるので、どうやっていくかを関係機関、団体さんにもご意見を聞きながら、市としても住民のことを考えて、よりよいものを考えていかなければならない。いろいろご相談していきたいという段階である。 ・ 繰り返しになるが、まだこういうことで進んでいくということではない。こういうようなことを今考えているということで、今回参考資料という形で出させていただいた。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何かご意見、質問があればいただきたい。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私も昨日新聞を見て切り抜いてきた。とてもいいと思った。 ・ 弥富市にはまだこういうのがない。 ・ 木曾岬さんは福祉センターさんが中心で、ヨシヅヤさんまで軽のワゴン車でどこかに集まって乗せてお買い物に行くということを月2回やっているとされた。なかなかいいことだと思った。 ・ そういうのを弥富市さんも、もちろんバスも大事だし、タクシーとの兼ね合いもあるが、あちこちでやっている。こういうのもこれからは大事ではないか。以上である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木曾岬さんは何かあるだろうか。
伊藤委員 (木曾岬町役場 危機管理課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私も詳しくまでは承知はしていないが、木曾岬町の中で買い物等々に足が困っているという方に関しては福祉のほうでそういった事業も展開している。 ・ バスしかり、そういった部分もしかり、木曾岬町の自主運行バスについても町内すべてを網羅しているわけでもない。ただ、いろいろな意見がある。増便するなり、路線を増やすなりということは当然のごとく経費がかかることである。そこを補完する何かも今模索しながらやっている。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今弥富市で検討されている内容も、道路運送法のもとに走らせるようなものではないのかもしれないが、人の移動が伴う、人を運ぶことが伴うことである。公共交通を考える会で報告いただいて、皆さんにご意見をいただいて進めていく必要があると思う。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの事務局の説明と山崎先生からも道路運送法の話があった。 ・弥富市からは運輸支局のほうにもこの件について相談を受けている。あくまでこれは自家用車を使うということになる。本来自家用車は自分で使うことが目的である。他人を運送するということは、本来は道路運送法の4条の許可を取って運ぶという三重交通や近鉄タクシーというところになる。ただ、この範囲であれば自家用の中でもできる。 ・今回の弥富市移動支援事業は買い物と聞いている。家事や身辺援助、これらの提供が中心となるサービスを提供するものであって、運送に対する固有の負担を求めないものである場合は、この送迎サービスの提供は、有償の運送とは解さないというのが国交省の通達の中でもある。 ・ただし、運送の対価に当たってしまうような事例もどうしても出てきてしまう。そちらについては今弥富市さんともいろいろ確認中ということもある。またここについては運輸支局と弥富市の間において対応していきたいと考えている。 ・1つ弥富市へお願いだが、今回公共交通の場で報告事項ということでこの内容が出た。実はとある企業さんから私どもにこの話の質問や照会を受けている。弥富市の事業ということになる。弥富市が主体となるので、法的な解釈の質問や照会については弥富市から直接運輸支局のほうへいただきたい。 ・私も公共交通会議に委員として参画をしている立場でもある。そういったこともあり、できたら弥富市から直接やりとりをいただきたい。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタカローラと私どもの間に業者が入っており、そちらが結構主導で運輸支局への照会をやっている面もあった。違うルートで行ってしまっただけで申し訳なかった。そちらにも話をさせていただく。弥富市から照会、問い合わせをさせていただく。よろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見、ご質問はあるか。よろしいだろうか。 ・十分にしっかりと検討していただいて、弥富市の福祉、そして人を運ぶ交通施策として市民のためになるようなことができる一番よいことである。しっかりと検討していただきたい。また何か進展があれば、こちらの会でご報告いただきたい。 ・全体を通して何かご意見があればこの際いただく。 ・市民の方で1度も発言いただけていない方は何か一言いただきたい。遠藤さん、何でも結構である。一言願います。
遠藤委員 (民生・児童委員 協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・今の車の話だが、私も昨日新聞を読んで、弥富はそういう車がないなと思っていたら、プリウスをいただけるという話を聞いた。ささえあいセンターで使うとよいと思った。 ・法律的に無理なこともあるようである。検討してやらないと、人を乗せ

	<p>るということであるので、難しい問題かなと思って聞いていた。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこの会議の中で、いろいろご意見をいただいて検討をしていく。それが反映されて実現していくことになるかと思う。よろしく願います。 ・山口さんも何か一言願います。
山口委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意見交換会のことだが、昨年、私は南部のほうで2回出た。こういうのは今後5年の間に何回行われるかはわからないが、きんちゃんバスは南部のほうは不便である。 ・せっかくあるなら通学・通勤時間に合うようなことを毎回眺めながら検討していただくのが一番よい。住民意見交換会でもそんな意見も出た。 ・せっかく木曾岬や飛島のバスが走っている。できたらそういうものとのつなぎ、そういうものを近い将来検討していただくとよい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局のほうから、今お2方の意見があったが。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・特に南部に関して、木曾岬と飛島のバスもある。そちらの連携はやっていきたい。よろしく願います。 ・住民意見交換会は、第4回の計画ではパブリックコメントと同じ1月だったが、1月だと意見の反映が計画にするのが難しいということで少し時期を早めている。またご参加をお願いしたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいだろうか。 ・早川さんさっきは何もなかったが、よろしいだろうか。
早川委員 (福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> ・よい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、一通り議事がこれで終了した。 ・マイクを事務局にお返しする。
6.閉会	
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項であるが、次回の第2回協議会は10月ごろを予定している。日程が決まり次第、皆様方にご案内させていただくのでよろしく願います。 ・以上をもって、第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を終了する。今後ともご協力賜るようお願い申し上げます。
	以上